

努力をしました。その一つが、
ご岸工事と永久橋づくりです。

ご岸工事とは、川の水によって土手がけずられないよう、コンクリートで土手を固める工事をする事です。今でも町役場の建設課では、川を見回ってご岸工事を進めています。

永久橋づくりとは、橋を木製からコンクリート製にしたり、橋のつくりを工夫したりして、よりがんじょうな橋にすることです。これらは、町だけでなく、国や県の仕事としても行われています。

水防団のかつやく

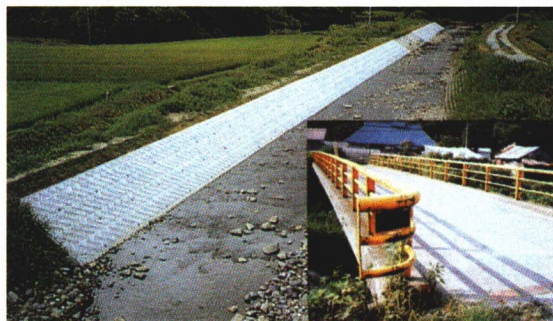
大水のひ害をふせぐために、さらに努力したことは、用具をそなえ、そしきをととのえたことです。

用具は、警察署西会津交番のうら手にあるそうこの中に入っています。用具は、かけや・くい・土のう用のふくろ・ロープなどです。

これらは、町役場の町民生活課がかんりしています。

そしきの本部は、この町民生活課にあります。さらに、各地区に水防団がおかれています。水防団は消防団と同じ人たちでそしきされています。

大雨がふり、大水のきけんがあると、各水防団は本部とれんらくをとりあってけいかいにあたります。



▲ご岸工事 (新郷笹川) ▲永久橋 (奥川小屋地区)



▲水防のための用具 (野沢)